

演奏に  
役立つ

One Point Lesson

# CLARINET

クラリネット

太田友香 おおた・ゆか



- ◆出身 茨城県立日立第一高校、昭和音楽大学
- ◆所属 東京佼成ウインドオーケストラ
- ◆趣味 食べる事、映画鑑賞
- ◆血液型 AB型
- ◆星座 蠍座
- ◆読者にひとこと 楽しむ心を忘れずに☆
- ◆手紙の送り先 BJ 氣付

## リードを大切に育てよう!!

みなさんこんにちは! 秋が深まってきましたね☆ そろそろアンサンブルコンテストの時期でしょうか? 少人数のアンサンブルは、大人数の合奏とはまた違った楽しみや魅力がありますね! アンサンブルでは指揮者がいないぶん、演奏者どうしてお互いの呼吸を感じ取ったり、アイコンタクトをとったり、相手の吹き方を聴きながらタイミングを揃え音を集めていきますが、その作業によってより仲間との絆が深まる感じがして、私は学生の頃から大好きでした。

### ■リードを育てるとは…

それではレッスンを始めましょう。今回はリードについてです。クラリネット奏者にとって、その振動体であるリードのコンディションというものは、「よい音で思いどおりの演奏ができるか否か」を決めるとても重要な問題になります。みなさんは吹きやすいリードを選ぶ、ということは普段の練習の中でしていると思いますが、“リードを育てる”ということをしたことはありますか?

葦(あし)という植物からできているリードは、天候や湿度、吹いた日数によって状態が変化するので、箱から出した後、**少しずつ吹きながら状態を安定させていく作業**が必要になります。この作業を私たちは“リードを育てる”と言っていますが、リードの育て方にも人それぞれのやり方があり、なかには育てる過程でリードを削って微調整している人もいます。私も一時期、紙ヤスリで手を入れていたこともありました。結局はよいリードを大事に育てて本番に備えるのが一番よいと感じて、今では手を加えていません。みなさんも、まずはリードの育て方、選び方からマスターしましょう! 今回は、私のやり方をもとにリードの育て方をお話しますね。

### ■私のリード育成法

まず、リードの箱を開けたら10枚すべて吹いてみます。このときに注意したいことは、

1枚1枚を吹きすぎないこと。新しいリードはすぐに繊維が破壊されて潰れてしまうので、最初の2、3日は1回につき5~10分程度(リードの先端が透き通ってきたら終わり)にして、それから徐々に吹く時間を増やしていきます。このとき高い音や**ff**、激しいタンギングなどはリードに負担がかかるので控えた方がよいでしょう。中・低音のロングトーンでならすのがベターかと思います。そして、湿ったリードは表面が膨らんでしまったり、乾く途中で反ったり波打ったりと変形しやすいので、吹き終えたリードはリードケースなど、平らなところに置いて乾かしてからしまうことが望ましいです。これをだいたい1週間続けていくと、リードの先端が透けなくなり、状態が安定してきて長時間の練習や本番でも使えるようになります。同時にこの頃には吹きやすいもの、吹きにくいものがハッキリ分かれてくると思うので、ここで、「明らかに薄すぎて吹けない!」または「厚すぎて吹けない!」というリードは潔く捨てることも肝心です。よくないコンディションのリードで吹き続けると、自分の吹き方が悪いリード仕様になってしまうので、常に吹き心地のよいリードで練習することが大切です。

### ■よいリードの条件とは?

では「よいリード」とはどのようなものでしょうか? 私が思う絶対条件は、まず**息が詰まらずストレートに入り、*f*・*ff*の音色が開くことなくよく鳴ること**。次に、***pp*が雑音なく鳴る(とくに最低音の「ミ」付近で雑音が入らない)こと**。最後に、**タンギングや音の出だしなどの反応がよいこと**、の3つが挙げられます。…とはいえ、なかなか感覚が掴めないかもしれません。自信のない人は、先生や上級生に吹いてもらったり、音を聴いてもらいながら選んで少しずつ慣れていってください。

### ■お役立ちグッズ

このようにして、私もだいたい1~2週間かけてリードの準備をしています。リードの状態が安定している頃でも、「あれっ。このリードこんなに吹きにくかったかなあ……」と戸惑うことがあります。それは先程もお話しましたが、リードは植物からできている生き物なので、天候や湿度の変化によって、状態が変わってしまう性質があるからです。

そこで私が頼りにしているグッズがこちら、ヴァイタライザーです【写真1】。これは密封した袋(ジップロック等)の中にリードケースと一緒に入れておくと、中の湿度を一定に保ってくれるもので、湿度58%、73%、84%の3種類があります。オススメは73%ですが、毎日リードケースを開けないとカビが生える可能性があるため、毎日吹くことができない人は58%の方がよいと思います。このヴァイタライザーを使い始めてから、リードが急に变化してしまうことが減り、それからはずっと使い続けています☆

最後にもう1つ、練習中にリードが波打ったりリードの裏に水滴が溜まったことにより、音が「サーサー、ジュージュー」と鳴り出して、吹きにくくなったときの応急処置をご紹介します。こうなったら、一度リードを外してよく口で湿らせてください。それから【写真2】のようにマウスピースの平らな部分にリードを押し付けて、リードを平らにしてもう一度取り付けましょう! これで吹いてみると全く違うリードを吹いているかのように吹き心地がよくなりますよ!

【写真1】



【写真2】

